

登録コード	UAE08600	開講年度	2026				
授業題目	臨床心理実習Ⅲ（心理実践実習Ⅲ）					担当教員	高橋 知音 他
						副担当	上村 恵津子・茅野 理恵・川崎 隆・高橋 史・向井 秀文
単位数	2	講義期間	通年	曜日・時限	月曜・5時限 月曜・6時限 木曜・2時限 木曜・3時限		
				授業形態	実習		
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学，2 5 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学						
	【心理】心理学分野の高度な知識・技能を有する。				⇔	心理学分野の高度な知識・技能を有する。	
	【心理】量的・質的分析方法を身につけると同時に、地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析する能力を有する。各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する支援を要する者の心理状態を分析する力、心理学分野の知識・技能を相談及び助言に応用する能力を有する。				⇔	量的・質的分析方法を身につけると同時に、地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析する能力を有する。各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する支援を要する者の心理状態を分析する力、心理学分野の知識・技能を相談及び助言に応用する能力を有する。	
	【心理】多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主体的に取り組みながら、独創的な提案を行う力、問題解決に不可欠な総合的なシナリオを提示できる提案力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する効果的な支援を提案できる能力を有する。				⇔	多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主体的に取り組みながら、独創的な提案を行う力、問題解決に不可欠な総合的なシナリオを提示できる提案力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する効果的な支援を提案できる能力を有する。	
	【心理】人間と社会を探究する学問分野間の総合的な知見を活かし、俯瞰的な視野で課題を捉える力を有する。				⇔	人間と社会を探究する学問分野間の総合的な知見を活かし、俯瞰的な視野で課題を捉える力を有する。	
	【心理】心理学分野の地域中核人材・研究者として備わっているべき倫理観を有する。資格取得を目指すものは、さらに専門職としての法的義務や倫理についての知識を有する。				⇔	心理学分野の地域中核人材・研究者として備わっているべき倫理観を有する。資格取得を目指すものは、さらに専門職としての法的義務や倫理についての知識を有する。	
(2)授業の概要	①心理教育相談室におけるケース担当 ②月例事例検討会 ③高等学校での心理査定実習 全体を通して、担当教員が精神科医療、学校教育、障害児福祉、司法矯正分野での心理支援の実務経験を活かして指導を行う。						
(3)授業計画	●信州大学大学院教育学研究科心理教育相談室実習③ 実習時間50時間 ・ケース担当（主担当・陪席） ・個別スーパーヴィジョン ・事例検討会 ●長野県立高等学校における学校実習 実習時間40時間 ・事前指導 ・心理査定実習 ・心理査定検討会 ・心理査定報告会 ・事後指導 ＊授業最終回に授業アンケートを実施します						
(4)成績評価の方法	①精神保健福祉センター見学実習（取り組みとレポートを総合的に評価）5% ②保護観察所見学実習（取り組みとレポートを総合的に評価）5% ③教育委員会心の支援課SNS相談実習（取り組みとレポートを総合的に評価）40% ④心理教育実践実習（取り組みとレポートを総合的に評価）40% ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀，89-80% 優，79-70% 良，69-60% 可，59%以下 不可。						
(5)成績評価の基準	学校実習では、スーパービジョンを受けながら目標を設定し、目標を達成できるよう心理検査についての知識と技能を習得し、指導者の指示に従いながら実践できれば「卓越している」、一部に不十分な点があるだけなら「かなり上にある」、いくつかの部分に不十分な点があれば「やや上にある」、いずれも不十分な点を残しつつもすべての課題をこなすことができれば「水準にある」。						
(6)事前事後学習の内容	受講生は、ケースを担当したら、面接記録を資料にまとめスーパービジョンを受ける。事例検討会で発表できるよう、発表資料を準備する。外部実習では実習記録をつけ、最後にレポートを作成する。						
(7)履修上の注意	・授業で紹介される事例については授業外で口外しない。守秘義務を守ること。 ・授業内容の不明な点を調べる，復習する，紹介文献を熟読するなど，自発的学習を求める。 ・臨床心理学コース以外の学生は，受講できない。						
(8)質問,相談への対応	高橋知音研究室（北校舎3階317） TEL:026-238-4223 e-mail: tomonet@shinshu-u.ac.jp 高橋史研究室（東校舎4階406） TEL:026-238-4231 e-mail: f_taka@shinshu-u.ac.jp 茅野理恵研究室（東校舎4階403） TEL:026-238-4207 e-mail: chinori@shinshu-u.ac.jp 篠田直子（東校舎5階501） TEL:026-238-4409 e-mail: n_shino@shinshu-u.ac.jp						

(8)質問,相談への 対応	向井秀文（東校舎4階405） TEL:026-238-4208 e-mail:mukaih@shinshu-u.ac.jp 上村恵津子（北校舎2階220） TEL:026-238-4243 e-mail:kamietu@shinshu-u.ac.jp 川崎 隆（東校舎4階407） TEL:026-238- e-mail:
【教科書】	アレン・E・アイビー（1985）マイクロカウンセリング 川島書店
【参考書】	福原真知子（2007）マイクロカウンセリング技法―事例場面から学ぶ― 風間書房 鮑田典子（1999）遊戯法 子どもの心理臨床入門 新曜社 E.O.リヒテンパーガー他（2008）エッセンシャルズ 心理アセスメントレポートの書き方 日本文化科学社 八木亜希子（2012）相談援助職の記録の書き方 中央法規 仙波純一（2008）精神科症例報告の上手な書き方